

みつぎ便り

126号
3月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成29年3月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>



コフキサルノコシカケ

今回は初めてみつぎ便りに登場するキノコ類の紹介です。一年中見られますので、比較的簡単に観察することが出来ます。特に、ケヤキ、サクラ、ブナ、クヌギなどの広葉樹の倒木、伐採後の切り株などを見回すと、サルノコシカケの仲間のコフキサルノコシカケというキノコが見つかります。是非、探してみてください。

一般的には、大きい物では数十センチに成長しますが、多く見られるのは数センチから二十

センチ程のものでしょう。特に成長の初めの頃は、全体に褐色の粉を吹いた様に見え、木の幹などに堅くしつかりと半円状についているため、猿の腰掛けに見えることから、この名が付いたようです。

また、和名でマンネンタケ、別名で霊芝(れいし)とも呼ばれ、漢方薬としてガンなどの病に免疫効果があると期待されていることなども良く知られています。

これからもキノコ類などの意外な生き物も紹介していきたいと思っております。
(圭)

アオキ

池の北側の階段を登った所にアオキが植えられています。低木で真冬の今でも幹、枝も葉もツヤツヤとした緑色です。日本特産の木で、学名もアオクバジャポニカといい、一年中緑色をしていることが名前の由来です。日陰でも良く育つアオキは、家庭でも学校でも北側に植えられることが多く、時にはトイレの眼隠しとして植えられ「便所の木」と呼ばれることもあります。アオキは、雌花の咲く株と雄



花の咲く株があり、つまり実のなる株と成らない株があります。雌雄異株という植物界でも変わり者です(イチヨウも雌雄異株)。アオキ等の雌雄異株植物は自家受粉しない完璧な戦略を選んだ植物です。アオキの雌株は真冬のこの時期には美しい赤い実を付けますが、公園の株は実を付けていませんので雄株の様です。お嫁さんとなる雌株は近くにないのでしょうか?

筆者は、まだ見つけていません。皆さんも探してみてください。
(薫)